

協議事項1 天神社総合調査について

1 調査目的

天神社を取り巻く関連文化財群の把握・価値づけを行い、またその成果から歴史文化の特性をストーリーとしてわかりやすく伝えることを目的とする。

2 総合調査の概要

(1) 実施項目

- ・天神社の保有する文化財の記録及び価値づけ
- ・関連する文化財を含めた総合的な価値づけ
- ・周辺地域における天神社の歴史的な意味づけ及び普及



(2) スケジュール

調査期間：平成 30 年 10 月 16 日から平成 31 年 6 月 30 日まで

＊平成 30 年 10 月 16 日 第 1 回 天神社総合調査会議 開催

	調査員	調査協力員	文審	事務局	スケジュール	備考
調査内容の検討						
調査員等の依頼（役割分担）			△	○	H30年10月	
文化財等の確認	○	○		○	必要に応じて随時	
調査・研究の方向性	○	↔○	○		H30年10・11月	研究素材の洗い出し等
個別文化財の調査・研究						
調査・研究	○	↔○			～H31年2月	役割分担により
中間報告・調整	○		○		1月	個別に実施
価値付け	○		○		1月	個別に実施
関連文化財群のまとめ						
価値付け・まとめ	○				2月	
個別成果の確認		○	○	○	2月	
方向性の検討			○		2月	
追加調査等	○	↔○			2～4月	
内容確認等			○		4・5月	
総合調査のまとめ						
総括	○		○	○	5月	文審で確認
確認・精査	○	○		○	5・6月	
一次資料のまとめ	○	○	○	○	～6月末	文審で確認
追加調査等	○	○			～12月	
刊行				○		

(3) 調査体制

「天神社総合調査実施要領」に基づき調査員・調査協力員を依頼

調査員	石井 正己氏	(民俗)
	鈴木 賢次氏	(建造物)
	近辻 喜一氏	(文書等)
	廣瀬 裕之氏	(金石文等)
	以上	文化財保護審議会委員

調査協力員	石田 貴氏
	高橋 孝氏

以上 調査員の推薦による市民委員

(4) 調査方法

- ① 各調査員を中心として個別に調査・研究を行う。
 - * 現地での調査を実施する場合は、事務局を通し他の調査員・調査協力員にも情報提供する。
 - * 現地での調査に関する情報（調査予定日時等含む）他の調査員調査協力員・文化財保護審議会委員にも情報提供する。
- ② 来年2月を目処に個別成果を天神社総合調査会議で確認し、取りまとめの方向性を決め、必要な追加調査を検討する。
- ③ 追加調査の成果を交え6月に一次資料としてとりまとめる。
- ④ 必要であれば、追加調査を行う。
- ⑤ 調査報告書として刊行する。

天神社をめぐる関連文化財群とストーリー（例）

